

第1回南長浜地域まちづくり共創会議 要点録

I 日 時 令和5年7月7日（金曜日）10時00分～11時50分

II 場 所 長浜市役所本庁3階 特別会議室（長浜市八幡東町632番地）

III 出席者 仁連 孝昭委員（委員長）

岩寄 博論委員 中尾 元重委員 高森 喜兵衛委員

小川 幸男委員 辻村 忠嗣委員 野本 浩司委員

西川 満委員 伊藤 義弘委員 武田 了久委員

若林 浩文委員 松本 秀章委員 川崎 他家廣委員

小川 暢保委員

【オブザーバー】伊藤 喜久雄議員

【長浜市】浅見宣義市長

【事務局】未来創造部 中嶋部長、森次長

政策デザイン課 柴田課長、服部課長代理、饗場副参事、山崎係長、
野村主査

都市計画課 西尾副参事

道路河川課 中川副参事

IV 内 容

1 開 会

事 務 局 開会を宣言

2 市長あいさつ

市 長 あいさつ

3 委員紹介

事 務 局 各委員および事務局から自己紹介

4 開催要領の説明

事 務 局 会議資料に基づき説明

5 正副委員長選出

事 務 局 委員長及び副委員長は、委員間の互選により選任することを説明。

→事務局からの提案により、委員長に仁連委員、副委員長に岩寄委員が

選任された。

6 議 事

- (1) 南長浜地域まちづくりにかかる経緯説明及び7/2開催ワークショップの結果報告
- 事務局 ・資料に基づき、南長浜地域まちづくりにかかる経緯等を説明。
・7/2開催ワークショップの結果報告

7 意見交換

- 委員 ワークショップの意見では「自然」を活発に使うという意見が多かったが、長浜病院などがある地域でもあるため、「健康」というキーワードを入れてはどうかと思う。
- 委員 農業後継者も少なくなってきており、赤字経営をしなければならない状況になってきて農地を管理できない時期がやってくると考えている。
- 委員長 後継者がいないのは大きな問題であるが、農業に魅力を感じている若者も多いと考える。
- 委員 南長浜は青地が多いが、地域として農地からの転換を進めるような意識が強いのか。
- 委員 そう思う。
- 委員 神田西黒田地域は人口が減っている。市街化調整区域のままでは、家を建てたくても建てられない。せめてバイパス付近まで市街化区域となればと思う。
- 委員 南長浜地域においては、自然を守りながらの開発が根本じゃないかと思う。開発するのであれば、特区を定めて自然とのバランスを考えながら進めることが望ましい。また、若者が農業をやりたいと思える仕組みが作ればと思う。
- 委員 南長浜地域が長浜全体の中でどういうエリアなのかを想定したうえで、コンセプトを考える必要がある。また、人を集めるには、人を惹きつけるネーミングが必要。駅やスマートインターもそういった視点で考えていってはどうかと思う。
- 委員 これまで何度もこういった会議が開かれてきたが、実を結んでいない。実現できるようにしていかなければ、と思う。高校生になる時期に市外へ出ていくことが多いように思う。小中学校や高等学校の教育について地域を見渡してやっていくことが大切と思う。
- 委員長 人口の自然減を回復させるのは難しい。社会減を改善するには外の人にどう伝えていくかが重要。どういうアクションか、どういう施設か、具体的に考えていく必要があり、今回、検討会議に若者が参加して考えていただけることは前進である。

- 委員 例えば、主に若者で構成する検討会議で、勝手に自町の絵を描いても問題ないと思うか。
- 委員 問題ない。町としても田村駅の計画が進まないことに温度感が下がっている。どうにか現状を変えてほしい、という思い。
- 委員 若者の意見や検討内容を支えていくことが、この共創会議の役割と思う。
- 委員 南長浜地域は恵まれた環境にある。地元としては神田スマート IC を上手くいかしてほしい。目に見えたことを推進していくことが大切と思う。田畑は大事だが、人は増やすとなれば新しいものも必要。
- 委員 長浜農業高等学校は、県内外のなかでも立派な施設である。南長浜地域の検討には、「農業高校」の要素を取り入れて考えていく必要があると考える。新しい農業の形を計画していただきたいと思う。
- 委員 それぞれの地協やまちづくり委員会でも、この南長浜のことを考えていると思う。そういった意見も聞いていきたいし、取り入れてほしいと思う。
- 委員 ワークショップで出た“強み”は他の地方にも共通することと思う。地方のなかでも特化したもの、差別化が必要と感じる。例えば、「子育て」において、南長浜地域は保育園や病院が近くにあり、自然も豊かで素晴らしい環境がある。また、地域の方もあたたかく、文教短期大学に保育士を目指す学生も多く、地域として子育てに向いている。課題としては、「教育」の面。小中学校の教育に力を入れることはもちろんのこと、地域としてバイオ大学を活かさないのはもったいない。また、田村駅周辺の計画をしっかりと進めてほしいと思う。
- 委員 新しい検討をしていくということだが、田村駅周辺の計画は一刻も早く進めてほしい。
- 委員 先ほど、特区の話があった。土地規制が厳しいため、行政にはその点をどうにかしてほしいと感じる。ここ南長浜地域は北陸や東海地方との経済圏の接点である。流通業や食品関係、レジャーや文化、様々なことが考えられるが、市の力も入れてスマート IC 周辺を動かしてほしい。

7 その他

- 事務局 ・今後のスケジュール等について説明
一か月前には通知を行うこととする

8 閉会

- 事務局 未来創造部長より閉会の挨拶
部長 【部長挨拶】

- ・人口減少の波にあらがえないが、人の流れを作っていくには夢やブランド化は必要である。
- ・国や県では人材シェアリングという考え方も取り入れていこうとする動きもある。
- ・「実行と実現」を常に意識して検討を進めていく。

以上